



学校教育の充実（施策2-1-1）

【目指す姿】

子ども一人一人の個性に応じた教育が行われ、確かな学力、豊かな心、健やかな体、ふるさとへの誇りと愛着が備わっています。

《取組方針》

確かな学力と個性を伸ばす教育の推進

2111

子どもの総合的な学力の向上を図るため、一人一人の資質に応じた指導や学校生活支援員等の配置、デジタル技術を活用した授業の実施などに取り組みます。

また、子どもが学習する内容と実生活・実社会を結び付け、より理解することができるよう、子どもが関心を持って学習する喜びを感じる授業づくりの支援など、小・中・高等学校教育を充実します。

豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

2112

子どもがお互いの考えを尊重し、他者との対話や協働を通じて、より良い方向を目指す力や豊かな人間性を育むため、地域の魅力を探求する教育、小・中・高等学校での道徳教育、人権教育を充実します。

また、主体的に地域社会に関わることができる子どもの育成や子どもの社会的・職業的自立に必要な基盤となる「基礎的・汎用的能力」の育成を図るため、職場体験活動やものづくり体験等、社会体験活動の機会の提供、子ども一人一人の発達を踏まえたキャリア教育を行います。

さらに、子どもの体力の向上や心身の健康の保持・増進を図るため、学校が作成する子どもの体力の向上に向けた計画（体力向上プラン）の効果的な活用、部活動の運営支援、学校給食を通じた食育の推進に取り組みます。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合	76.5% (R4)	77.6%	↑
児童が体育の授業以外で運動する時間 (1日当たり)	60分/日(R4)	64分/日	↑

【主な取組事業】

◎ 子どものシビックプライド醸成事業

本市の魅力を認識し、社会活動に参画しようとする子どものシビックプライドの醸成を図るため、子どもが地域の魅力を紹介し合い、魅力を知る機会や魅力を伝えるPR動画の作成に取り組みます。

◎ 部活動の地域移行推進事業

子どもがスポーツ活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、学校、地域、保護者、スポーツ団体、事業者等の関係者と連携し、地域の実情や特性に応じた部活動の地域移行に取り組みます。



地域の良さを発表する児童
(高松プライドプロジェクト)



高松産ごじまん品を活用した学校給食



学びを支援する教育環境の充実（施策2-1-2）

【目指す姿】

学校施設と教育機器等が十分に整備され、子どもたちに安全・安心な環境や効果的な学習機会が提供されています。また、教員の働き方改革が進み、研修の受講や子どもとのコミュニケーションに十分な時間が取れています。

《取組方針》

学校教育施設の充実 2121

学校教育施設の適切な維持管理と長寿命化を図り、良好な教育環境を維持するため、中・長期的な整備計画に基づき、効果的で効率的な学校教育施設の整備に取り組みます。

また、子どもと教員のICT活用能力の向上を図り、子ども一人一人の特性に応じた指導を行うため、小・中・高等学校の一人一台端末や電子黒板の配備、ICT支援員の配置など、子どもが様々な場面でICTを活用できる環境を整備します。

安全対策と教育機能の充実 2122

子どもが安全・安心で快適な学校生活を送ることができるよう、学校、家庭、地域、警察等と連携を図りながら、通学路の安全確保や大規模災害を見据えた防災教育、避難訓練等に取り組みます。

また、子ども一人一人の状態や特性、心身の発達の段階に応じて支援をすることができるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置、特別支援教育の推進、不登校児童等への支援の充実、医療機関や社会福祉関係団体等と連携した学校運営体制の構築などに取り組みます。

教員の資質向上と教育指導体制の充実 2123

子ども一人一人に向き合い、子どもの学びや成長を支える役割を果たすため、教員の長時間労働を解消するなど、教員の働き方改革を推進します。

また、教員が学校教育現場における課題に適切に対応する能力を身に付けるため、教員が自主的に学べる研修プログラムの作成や教育課題に対応した研修を行います。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
ICTを活用して授業を行っている教員の割合	91.3% (R5)	97.0%	↑
大規模災害等を想定した避難訓練を行っている学校の割合	57.9% (R4)	82.6%	↑

【主な取組事業】

◎ 小・中学校バリアフリー整備事業

障がいの有無にかかわらず、子どもが安全で円滑に学校生活を送ることができるよう、学校にエレベーターを設置するなど、学校教育施設の計画的なバリアフリー化に取り組みます。

◎ 小・中学校体育館空調設備設置事業

授業における子どもの熱中症の発症などを防止するため、小・中学校体育館への計画的な空調設備の設置に取り組みます。

◎ 教育ICT整備・活用推進事業

子どもの学習意欲の向上や情報活用能力等を育成するため、小・中学校での授業における電子黒板や一人一台端末の活用などを推進します。



ICTを活用した授業



大規模災害を想定した避難訓練

家庭・地域の教育力の向上（施策2-2-1）

【目指す姿】

学校・家庭・地域がそれぞれの立場から子どもの教育に責任を持ち、相互に連携・協働しながら、健全な子どもの育成や見守りが行われています。

《取組方針》

学校・家庭・地域の連携・協働の推進 2211

社会全体で子どもを育てる環境を構築するため、学校と地域住民の連携による学校運営、ボランティア活動、自然体験活動、課外学習活動等を推進します。

また、学校・家庭・地域をつなぐコーディネーターの養成や子ども会活動の活性化に取り組めます。

さらに、保護者が安心して子育てや家庭教育を行うことができるよう、家庭での望ましい生活習慣、子どもとの接し方などに関する情報発信、学習機会の提供などに取り組めます。

青少年の健全育成の推進 2212

青少年の非行の未然防止や地域の見守り力の向上のため、学校・地域・市民活動団体と連携し、効果的な情報提供や補導活動の充実、健全育成活動の担い手の育成などに取り組めます。

また、SNSに起因する犯罪やいじめ等から子どもを守るため、保護者と子どもに対し、スマートフォン・SNSの利用に関する情報モラルの向上などの啓発活動に取り組めます。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
学校・家庭・地域が連携・協働している小学校の割合	91.5% (R4)	97.9%	↑
市民活動団体と健全育成団体が連携できた地域数(累計)	3地域 (R5)	24地域	↑

【主な取組事業】

◎ 地域学校協働活動推進事業

地域住民の参画による子どもの成長を支える地域づくりを推進するため、学校と地域をつなぐコーディネーターの配置・養成やコーディネーターの活動の支援などに取り組みます。

子どもの安全確保活動事業

事件や事故、犯罪から子どもを守り、地域全体で子どもの安全を確保するため、スクールガード・リーダーの小学校等への派遣や巡回の強化、市民活動団体と地域の連携による登下校時を中心とした見守り活動の促進に取り組みます。



学校・家庭・地域が連携した防災訓練



市民活動団体と地域が連携した見守り活動

生涯学習の推進（施策2-2-2）

【目指す姿】

市民一人一人が、それぞれの学習ニーズに応じてスキルアップや学び直しを行っています。また、それぞれの学びの成果を地域課題の解決などに積極的にいかしています。

《取組方針》

学習機会の充実 2221

市民のライフスタイルやニーズに応じた多様な学習機会を提供するため、生涯学習センター・コミュニティセンター等での学習や夜間教室の実施、スマートフォン等を活用したオンライン講座の開催などに取り組みます。

また、市民が学びの成果を身近な地域で幅広くいかすことができるよう、成果発表の機会の提供や情報発信の充実に取り組みます。

学習施設・機能の充実 2222

市民の生涯学習環境の充実と利用の促進を図るため、生涯学習センターの学習プログラムの充実やICT機器の導入、一部のスペースの無料開放などに取り組みます。

また、図書館においては、市民の幅広い読書活動を促進するため、子ども読書まつり等の各種行事の開催、誰もが時間的・空間的制約を受けことなく利用できる電子図書等のデジタルツールの構築などに取り組みます。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
生涯学習センターとコミュニティセンターの講座の参加者数	72,733人 (R4)	92,000人	↑
市民1人当たりの図書館資料の貸出数	5.9冊 (R4)	6.9冊	↑

【主な取組事業】

生涯学習推進事業

市民の学習ニーズに対応し、多様な生涯学習の機会を提供するため、少子・超高齢化等の社会課題に関する講座や大学等と連携した美術・歴史等の専門講座、企業等と連携した金融セミナーなどを開催します。

◎ サンクリスタル高松リニューアル事業

サンクリスタル高松の機能や魅力、集客力を高めるため、図書館システムの改修、菊池寛記念館と歴史資料館の展示室設備の改修など、施設のリニューアルに取り組めます。



生涯学習センターで開催する講座



子ども読書まつり



人権尊重・平和意識の普及・高揚（施策2-3-1）

【目指す姿】

市民一人一人が当事者意識を持って人権尊重の理念を正しく理解し、自らも差別や偏見を受けることなく暮らしています。また、戦争の悲惨さと平和の尊さを理解し、平和意識が醸成されています。

《取組方針》

人権啓発の推進 2311

差別や偏見のない社会を実現するため、国、香川県等と連携を図りながら、人権に関するイベントや講演会、パネル展等の開催、職員や企業等への人権研修の実施など、あらゆる機会をとらえた啓発活動に取り組みます。

また、人権教育・啓発の拠点である文化センター（隣保・児童館）を活用して、現地研修会の開催や文化祭等による交流促進、教育・就労等に関する相談体制等の充実に取り組みます。

人権教育の推進 2312

子どもが人権に対する正しい理解と人権感覚や人権問題の解決に向けた能力を身に付けられるよう、学校・家庭・地域が連携を図りながら、フィールドワークやグループ学習等を取り入れた実践的な授業を行います。

また、教職員の資質と指導力の向上や子どもを取り巻く家庭・地域の人権意識の更なる醸成を図るため、人権に対する正しい理解と人権感覚の研鑽につながる研修会の開催などに取り組みます。

平和意識の普及啓発 2313

戦争のない、平和な社会の構築に対する市民意識の向上を図るため、啓発イベントの継続的な実施や広報紙の発行、平和記念館での平和学習の充実、デジタル技術を活用した効果的な学習機会の提供などに取り組みます。

また、戦争の記憶の風化を防止し、戦争を知らない世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるため、市民活動団体と連携を図りながら、遺品・資料等の保存収集や展示、戦争体験の継承に取り組みます。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
人権啓発イベント参加者の人権問題の理解度	97.7% (R3)	99.0%	↑
平和意識啓発イベント参加者の平和意識の向上度	—	95.0%	↑

【主な取組事業】

人権啓発推進事業

幅広い市民が人権に関する正しい知識を身に付け、行動することができるよう、各種講演会の開催や広報活動の推進、事業者、地域コミュニティ協議会等を対象とする研修会開催の支援などに取り組みます。

平和啓発推進事業

幅広い市民の平和意識の向上を図るため、市民活動団体との連携により、平和意識の普及・啓発に関する各種イベントの開催、平和記念館での平和学習の実施などに取り組みます。



ハンセン病に関する講演会



平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭



誰もが活躍できる環境の形成（施策2-3-2）

【目指す姿】

性別や障がいの有無、国籍等にかかわらず、誰もが対等な関係を築き、地域の中で共生しながら、全ての人が個性と能力を十分発揮しています。

《取組方針》

男女共同参画の推進 2321

男女が共に活躍する社会環境を構築するため、固定的な性別役割分担意識を解消し、無意識の思い込みによる偏見が生じることがないように、男女双方の意識改革の促進を図ります。

また、働く場における女性の活躍を推進するため、出産・育児と仕事の両立や方針決定過程への女性参画の拡大、出産・育児等により離職した女性に対する学習機会の提供など、企業等の積極的な取組の促進や女性の継続就業・再就職の支援を行います。

ユニバーサルデザインの普及啓発 2322

年齢や性別、障がいの有無、国籍の違いに関係なく、誰もが快適に生活することができるよう、市民、事業者、市民活動団体等と連携を図りながら、ユニバーサルデザインについての理解の促進や地域・職場で率先して周りの人に配慮のある行動ができる人材の育成などに取り組みます。

多文化共生の推進 2323

新しい在留資格の創設や国際化の進展等による在住外国人の増加に対応するため、専門職員による通訳・翻訳等の支援や多言語対応のホームページ・電子書籍版「広報高松」等による情報提供の充実を図り、在住外国人が住みやすい環境づくりを推進します。

また、国籍の違いにかかわらず、市民同士の相互理解を促進するため、在住外国人と地域住民との交流イベントの開催や日本語の習得支援など、在住外国人が地域行事に参画する機会や支援の充実に取り組みます。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
女性の社会進出が進んだと思う市民の割合	69.7% (R5)	75.0%	↑
多文化共生が重要と考える市民の割合	58.0% (R5)	64.0%	↑

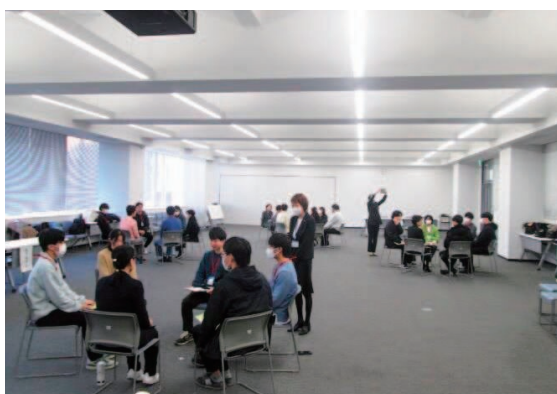
【主な取組事業】

女性の活躍促進事業

市内企業における女性の活躍やワーク・ライフ・バランスを促進するため、女性活躍推進に関するセミナーの開催や様々な不安や悩みを抱える女性に対する相談支援等に取り組めます。

多文化共生推進事業

在住外国人が住みやすく、地域行事にも参画しやすい環境を整備するため、通訳・翻訳等による言語面の支援、在住外国人と地域住民との交流イベントの開催、日本語の習得支援に取り組めます。



男女共同参画セミナーでのワークショップ



地域行事に参加する在住外国人